

授業科目

視覚系構造・機能・病態

担当教員名 阿部 春樹、板東 武彦	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		◎	○	

授業の概要

眼組織から中枢までの構造・機能・病態など視能矯正学の基礎部分の幅広い分野の知識修得を目指す。

授業の目的

正常眼組織の構造と機能の解説に主眼を置き、それが破綻を来した場合の病気との関連性、その病理像など臨床的発症の原因となる機能のおよび器質的变化の確認に基づく深い理解を求める。

学習目標

1. 視覚器の構造を説明できる。
2. 脳と神経、眼球運動系を説明できる。
3. 眼の自律神経を理解できる。
4. 眼圧、房水、涙液の機能を理解できる。
5. 眼病理学、疾患、免疫、遺伝を理解できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	視覚器 (1) 眼球・眼球付属器・眼球の血管系	講義	阿部 春樹
2	視覚器 (2) 視神経・視路、眼球の計測値	講義	阿部 春樹
3	脳と神経 (1) 視覚伝導路：網膜・視神経、視交叉、視索、外側膝状体、視放線、第1次視覚野、高次視覚野、視覚情報処理	講義	阿部 春樹
4	脳と神経 (2) 大脳皮質と機能局在、脳と脳神経、視覚に関係する脳神経	講義	板東 武彦
5	眼の自律神経 (1) 自律神経、瞳孔	講義	板東 武彦
6	眼の自律神経 (2) 近見反応、調節、調節安静位、輻湊	講義	板東 武彦
7	眼球運動系 (1) 核上性中枢、眼球運動神経核	講義	板東 武彦
8	眼球運動系 (2) 末梢神経、開瞼・閉瞼運動	講義	阿部 春樹
9	眼圧 眼圧の正常値、日内変動、季節変動、体位変動、年齢、性差、薬物の影響、飲水・カフェインの影響	講義	阿部 春樹
10	房水 房水の産生と流出、房水の組成、房水産生に影響する因子、瞳孔ブロック、隅角閉塞、薬剤の影響	講義	阿部 春樹
11	涙液 涙腺、涙液の構造・性状・機能、涙液の分泌と排出	講義	阿部 春樹
12	眼病理学 炎症、免疫・感染、循環障害、退行性病変、腫瘍、先天異常	講義	阿部 春樹
13	眼疾患と免疫 (1) 免疫機構、アレルギー反応	講義	阿部 春樹
14	眼疾患と免疫 (2) 免疫異常による眼疾患	講義	阿部 春樹

15	眼遺伝 遺伝子、遺伝子の異常と疾患	講義	阿部 春 樹
----	-------------------	----	-----------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	視能学 第2版	丸尾敏夫、久保田伸枝、深井小久子（編）	文光堂	2011年	18,000円+税	
	標準眼科学 第13版	木下茂（編） 他	医学書院	2016年	7,000円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験 80%
提出物 20%

履修上の留意点

再試験・追試験は必要があれば、原則として1回のみ実施する。
締め切りをすぎた提出物は原則として受け取らない。

オフィスアワー・連絡先

毎週月曜日 18:00~18:30
P308
haruki-abe@nuhw.ac.jp